

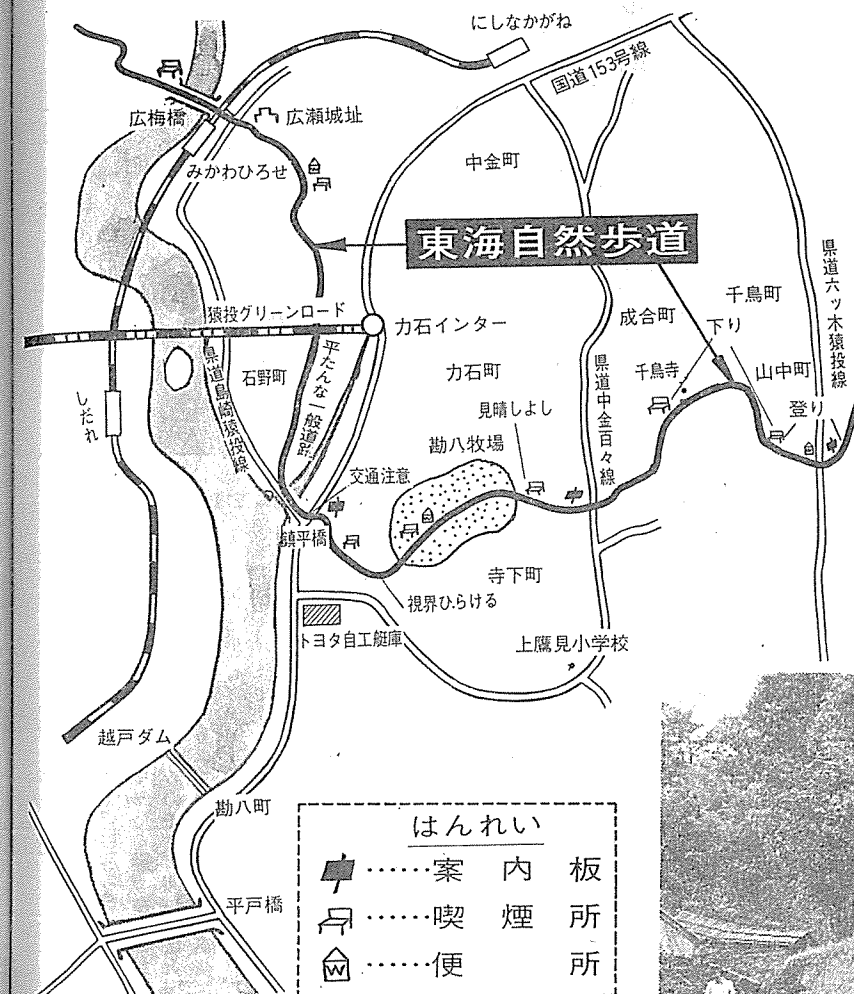


鳳来寺山、香嵐溪などの奥三河のけわしい山間部を通り抜けてきた。自然歩道は、市内山中町から豊田市北部に広がる丘陵地帯に入る。

山中の部落は四十戸あまり、この部落の中央を通り、歩道は再び山の中に入りゆるやかな上りが続く。マツ、クヌギ、カシなどの木立にかこまれた道は、いまを盛りと芽を吹きだした青葉、若葉でさまざまな緑にぬめりつづされている。二十分ほどで標高二百^三の元山中峠にある喫煙所につく。眺めはよく、遠く北設の山並みをながめることができる。ここから道は下りに入り千鳥寺^{せんちょうじ}までは三十分の道のりである。千鳥寺は室町時代の初期に名僧、金竜和尚によって開かれた由緒ある寺で、この地方の中山本として繁栄をきわめた。山門と本堂は、裏山の赤松林、境内前の小川、野辺の草花などにとけ込み山里的の静かめ春をかもしだしている。

千鳥寺から勘八牧場までは五十分である。木々にかこまれた上り下りのゆるやかな道。丘を二つほどこえると急に視界が開け、矢作川、猿投山が見える。そして、緑のじゅうたんを敷きつめたような牧草におおわれた勘八牧場につく。和牛がのどかに草をほみ、しばしば牛とたわむれる。勘八牧場をすぎると道は平野部に入り、両側は畑である。国道一五三号線を横切り、鎮平橋を渡り、しばらくは一般道路。車はさほど通らないが交通にこ注意を。グリーンロードを渡ると広瀬の部落に入る。農家の軒先をかすめて進む^{こじまなかのり}と児島高德の築城になる広瀬城址。北を矢作川にかこまれた天然の要塞のこの城跡の木立の間から、矢作の流れが光る。勘八からここまでおよそ一時間である。

ガ
イ
ド



東海自然歩道は、東京の高尾国立公園から大阪の箕面国立公園までの1,380キロメートルを結ぶ自然道。豊田市も山中町から勘八町、西広瀬町を経て、猿投山に抜ける23.7キロメートルが通ります。コース途中には、案内板、方向標、トイレ、喫煙所のほか名所旧跡の説明もあり、歩きながら勉強ができるわけです。お友だち同志、ご家族づれで気軽に散策ができると思います。なお、グリーンの▶印が自然歩道の方です。



●自然を生かしたこんな階段も（広瀬城址） ●どこかの城下町のように（西広瀬町） ●矢作川、猿投山が展望できます（勘八町）



とけ込んで(千鳥寺) ●喫煙所でちょっといっぶく(元山中喫煙所) ●農家の軒先をかすめ歩道は続く(山中町)